

世界のISO認証件数が発表

ISO(国際標準化機構)は、2022年末時点での世界のISOマネジメントシステム規格の認証件数について集計・調査した“ISO Survey 2022”を公表しました。

ISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO45001(労働安全衛生)、ISO/IEC27001(情報セキュリティ)、ISO22000(食品安全)、ISO13485(医療機器)、ISO39001(道路交通安全)を含む16規格を対象に集計されたもので、16規格の認証総数は前年比23%増と大幅に増加。増加要因としては、中国での認証数の増加と今回よりIAF CertSearchからのデータが追加されたことによるものとのこと。また、調査に参加する認証機関は各年で変動があり、今回の日本の認証数の一部減少が見られるのは、主に前回調査に参加した認証機関の不参加によるものとされています。IAF CertSearchは、IAF(国際認定フォーラム)による登録認証機関向けの最大のグローバルデータベースで、今回からの連携により、ISO Surveyの結果の精度がさらに向上されたとのこと。

規格別認証数では、ISO9001は1,265,216件(前年比17%増)で、国別では

日本は38,916件で6位、ISO14001は529,853件(前年比26%増)で日本は20,892件で2位でした。その他、ISO27001は6,987件、ISO22000は1,833件、ISO45001は1,948件でした。この調査の詳細は、ISOのホームページでご覧いただけます。(https://www.iso.org/the-iso-survey.html)

北陸技術交流テクノフェア2023に出展

2023年10月19-20日に福井県産業会館で開催された北陸技術交流テクノフェア2023に出展いたしました。産官学が一堂に会する本フェアは、北陸最大規模の総合展示会で、34回目となる今年の参加企業・団体数は延べ180を超え、来場者数は2日間で約18,000人とコロナ禍以前の水準に回復、地元メディアからも大々的に取り上げられていました。

技術連携を目的とする本フェアには、北陸チーム4名が参加し、ISO規格の他、FSC(森林認証)、MSC(海洋管理協議会認証)、テキスタイルエクステンジ認証などのサステナビリティ関連を含めた各種認証サービスもご紹介させていただきました。今回、北陸では初の出展でしたが、期間中、弊社お客様をはじめ、様々な業種、組織の方々と交流、情報交換さ

せていただき、弊社の様々な事業活動の周知を含めいい機会となりました。弊社ブースへお越しいただいた皆様、心よりお礼申し上げます。

「健康優良企業 銀の認定」取得

インターテックグループでは、社員の健康と安全を最優先事項と考え、職場の健康づくりを推進しています。この度、インターテック・サーティフィケーションは、グループ会社と共に、その継続的な取り組みが認められ、2023年10月3日付けで、健康保険組合連合会東京連合会が実施する健康優良企業認定制度において、一定の成果を収めた企業に与えられる「銀の認定」を取得いたしました。

銀の認定では、健康診断受診率、健診結果の活用、健康づくり・環境の整備、食、運動、禁煙、心の健康に関する取り組みが評価されます。グループでは、健康サポートアプリの導入、健康づくりイベントの実施、ウェルビーイング関連の社内ニュースレター配信など、プロジェクトチームを中心に様々な取り組みを進め、この評価に繋がったものと思います。今後もさらなる健康経営の推進を進めてまいります。



健康優良企業
認定番号: 健銀第2744号

Q&A

今回は、統合審査に関するご質問についてご紹介いたします。

Q1. ISO 9001と、ISO 14001を別々に取得して数年が経ち、慣れてきましたが、年2回の審査で準備が重複しているところもあります。審査を一度にまとめて受けることはできますか？

A1. 可能です。弊社では、複数の規格を同時に受審する統合審査も実施しています。統合審査を受けていただくためには、まず組織のマネジメントシステムで、両規格の主要プロセスが、統合されている必要があります。統合審査では、各規格の共通項目を無駄なく審査し効率化が図れるため、重複している各審査の準備・対応も一度で済み、年間の審査回数も少なくなります。また、多くの場合、各規格の単独審査日数(工数)の合計と比べて、審査日数(工数)が短縮されることも統合審査のメリットです。ただ、年2回の審査を1回にまとめるため、1回あたりの審査日数(工数)は単独審査より増えることになります。ご不明な点等ありましたら、弊社までお気軽にご相談ください。

Q2. 統合審査への変更で何か注意点はありますか？

A2. 統合審査の受審時期は、現在のISO 9001又は、ISO 14001のどちらか都合のいい定期審査時期にまとめていただくことが一般的です。ただ、システム統合により、両規格の審査サイクルを合わせるため、再認証時には、いずれか先に再認

証時期を迎える規格に合わせて、両方の規格を再認証することになります。そのため、認証取得時期がずれている場合は、一方の規格の再認証審査が繰り上がるため、現在の有効期限から大幅に変更となりますのでご留意ください。

また、統合審査の基本条件の一つとして、認証範囲が揃っていることが必要です。ISO 9001は業務単位での受審が可能ですが、ISO 14001は、業務単位ではなく組織全体での受審が必要となります。(例:ISO 9001:「土木工事」、ISO 14001:「土木工事、産業廃棄物の中間処理」など。) 認証範囲が大きく異なる場合、統合審査が難しい場合もありますので、ご相談ください。

なお、認証済みの規格に、新たに別の規格を追加認証する場合(例:ISO 9001認証企業が、ISO 14001を新規取得など)、その初回審査からの統合審査はできません。(次のサーベイランスから統合審査が可能となります。)

統合審査のご希望、ご質問等は、各エリア営業、もしくは東京事務所営業部までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】

東京事務所 Email: info.ba-japan@intertek.com

※弊社ホームページからもお問い合わせいただけます。

(https://ba.intertek-jpn.com/contact/)